



人類に  
奉仕する  
ロータリー

## パワー浜松ロータリークラブ週報

クラブテーマ: 全員参加で、奉仕の理想を実現しよう!

パワー浜松ロータリークラブ (2016-17年度 会長: 近藤 雅彦 幹事: 田淵 邦彦)  
〒430-7733 浜松市中区板屋町 111-2 オークラクトシティホテル浜松 4307 号室  
Tel: 053-452-0800 Email: info@power-hamamatsurc.jp  
http://www.power-hamamatsurc.jp

創立: 2002年10月22日 認証伝達式: 2003年4月29日 スポンサークラブ: 浜松中RC

### 第647回例会 10月 25日 AM7:30~8:30

オークラクトシティホテル浜松3Fチェルシーの間

- 司会: 原田道子 森俊彦 山下俊彦
- 点鐘: 近藤 雅彦
- 議事: 米山記念部会「米山記念奨学事業について」

〈出席報告〉

会員数 79名(内 出席免除会員1名)  
出席数 61名 出席率 78.21%

前々回出席率 80.77%

#### ■会長挨拶



先週の例会は創立記念例会ということで、浜松中ロータリークラブの半場幸治会長からご挨拶を頂きました。その中でクラブ設立の3つの目的ということをお話しいただきました。「仕事を伸ばす」「交流を広める」「活動を通じて人格の向上を図る」ということです。設立趣意書に書かれておりますが、改めて私たちのクラブの原点を確認させて頂いたと思います。

さて、本日の例会は米山記念奨学学生事業について地区の委員長であった小澤邦比呂さんの卓話です。米山記念奨学学生の事業というのは青少年派遣交換の事業と並んで、非常にロータリーらしい、ロータリーにしかできない素晴らしい事業だと私は思っています。我がクラブはこの3月まで、3年連続で奨学生を受け入れておりましたが、今年は他のクラブも受け入れをしてもらった方がよいということで残念ながら今年は受け入れてはおりません。

奨学生はやはり中国の方が多というのが実情で、もっと幅広い国の方を支援すべきではないかとの課

題がある一方で、我が国との関係が微妙な折に、是非日本のことを良く理解していただける人材を作っていく事は本当に意味があることだと思っています。

#### ■幹事報告

1. レターケースに配布した資料をご確認ください。  
◎職業奉仕部会から、第652回例会グループ別による会員職場訪問のグループ・メンバーの一覧と訪問先の一覧表です。委員会報告があります。  
◎11月19・20日(土・日)、グランシップ静岡で開催される地区大会ですが、20日旅行日程のご案内を参加される方だけに配布しています。  
◎「認知症サポーター養成講座」のご紹介とお願いについてです。委員会報告があります。
2. 例会終了後30階ルビーの間で、第4回役員・理事会を開催致します。出席義務の方はご出席をお願いします。

#### ■委員会報告

1. 奉仕プロジェクト委員会委員長、奥山恵理子さん  
認知症サポーター要請講座についての資料をまとめました。認知症サポーター要請講座は、ロータリークラブの5周年記念事業として始めたもので、当時は開催にあたって県や市へ何度も打合せに行きました。また、できるだけ多くの方に知ってもらおうと、(浜松のコミュニティー)エフエム放送や、(浜松)ケーブルテレビなどでも放送しました。

(開催当日は)静岡文化芸術大学で、1千人を超える人にお越しいただき、会場からあふれる程の人がお越しくださり、ビデオ(中継)で別会場につないで行うほどでした。群馬大学(医学部教授)の山口晴保先生にお話をいただきました。厚生労働省などからも(担当者が)来て下さいました。

今、日本は若い人たちが、頑張って働くには、高齢の方に元気でいて頂かなければなりません。高齢者の方のための講座ではなくって、私たち若い世代にも重要なことということではじめました。

浜北ロータリークラブでは、11月12日(土)に認知症サポーター要請講座を開催します。パワー浜松ロータリークラブも協力していますので、ぜひご参加ください。

## 2. 金山土洲さん

先週東京四谷のロータリークラブに行ってきました。実は初めての経験だったのですが、(他クラブの例会に出席して)困るのは、“にこにこ”のことですね。クラブによっては、一口の“にこにこ”の金額が決まっています。東京(四谷RC)は一口5千円だそうです、クラブによってスマイルのやりかた違いますね。

それから、例会いくとバナーをもらえるのですが、あのバナー段々とたまっていくので、どうしたら良いのか。個人に頂いているのか、クラブに頂いているのか?そのあたりもどうなのでしょうね。

## 3. 職業奉仕部会部会長 松本太一さん

レターケースに配布したグループミーティングのメンバー表についてお詫びと訂正です。池田龍郎さんのお名前の龍の字が間違っていましたのでお詫びして訂正いたします。

配布した資料の1枚目は、グループ分けしたメンバーです。2枚目はグループ別による職場の訪問先を明記しています。日にち、時間が合わなければ、別のところで行ってください。合わない場合には、私に連絡ください。

(会場の田村剛夫さんから声あり)(株)丸山コーポレーションへの訪問先のショールーム住所を、(浜松市南区寺脇町)616-3番地に訂正をお願いします。

## ■スマイル

◎小澤邦比呂さん

本日は米山記念部会「米山記念奨学事業について」卓話の時間を頂きありがとうございました。今後ともご支援を宜しくお願いします。

◎熊谷真一さん

10月23日に、青少年交換派遣学生の第一回オリエンテーションが開かれ、娘の熊谷紗奈(さな)が参加しました。近藤会長、ジョーさん、西尾さんほか関係の皆様ありがとうございます。

◎滝浪寛さん

ハッピーバースデー、ありがとうございました。

◎金山土洲さん

11月1日から7日まで、東京孔雀画廊で個展を開きます。小さな画廊ですが、ここは巨匠の作品を扱うオーナーで有名なところ。八重洲口から歩いて10分、京橋駅4番を出て1分です。お立ち寄りください。

◎武田信秀さん

先ほど(ハッピーバースデーのときに)言い忘れましたが、ぐるナイ「ゴチにになります」(NTV)の放送は11月10日(木)です。レーザーレンジが出ます。静岡新聞の(コラム)「窓辺」にも掲載されました。ありがとうございました。

◎奥山恵理子さん

委員会報告で認知症サポーター要請講座のご案内と、パワー浜松RCの5周年記念事業として開催したときの概要を紹介させて頂きました。ありがとうございました。この事業をスタートとして、浜北RCが継続した社会奉仕活動として行っていきたいということで、パワー浜松RCが協力して10年間続いています。ことしは10年目の講座、中学生以上、どなたでもご参加いただけます。

◎池田龍郎さん

決算は最高益をあげて第20期にはいりました。

気候も爽やかになってきましたのでスマイル!!

◎山下俊彦さん、小林昭次さん

セキスイハイム東海の静岡新聞全15段の広告(1月1日掲載)、が静岡県広告業協会賞に入賞しました。

昨年、世界遺産となった韮山町の反射炉をビジュアルに使用し、セキスイハイムの住宅づくり精神「時を経ても、続く価値を。」というメッセージとリンクさせたものです。

これを機会によりいっそう制作者魂を高ぶらせていく覚悟です。

## ■ハッピーバースデー（親睦部会）



♪ 10月の誕生日の皆さんおめでとうございます。

### ◎滝浪實さん

チャーターメンバーです。いまだに会員で居ります。会員維持増強委員会で辞めない覚悟で頑張っています。インフルエンザが流行りはじめましたのでお気を付けてください。

### ◎武田信秀さん

10月14日で50歳になりました。ロータリーに入ってから10年たちましたが、まだ名前を憶えてくださらない先輩もひとりいます。

昨日、日本テレビの番組、ぐるぐるナインティナイン「ゴチになります。」で、僕の作ったレーザーレンジが取り上げられまして撮影をしてきました。ナインティナイン、小栗旬、二階堂ふみさんなどと、2時間の（番組を）やるのに、丸一日撮影を行いました。色々なものを食べていましたけれど、厚揚げの上に納豆をかけたものが一番美味しかったです。

### ◎五十嵐晴巳さん

10月18日で53歳になりました。私も厚揚げが大好きです。一番下の息子が二十歳になったので、自分へのご褒美で、ザイグル（赤外線調理器）というのを買いました。美味しく厚揚げが焼けます。そんな料理ばかり食べさせていたら次男がすごく痩せました。武田さんも痩せているので、もしかしたら厚揚げが痩せるのではないかなと思います。n（分母）が2なのでわかりませんが挑戦してみてください。

### ◎松井進さん

10月20日で61歳になりました。私も厚揚げが好きです。今、自宅の建て替えをしています。先日上棟したばかりで楽しみにしています。

### ◎リビージョセフ マテューさん

厚揚げ美味しいですね。先週の金曜日21日に51歳になりました。先週、家内が出張でアメリカでしたので、子ども達と一週間を過ごしました。子ども達は僕の誕生日を忘れていたようですが、土曜日の朝に「昨日誕生日だった、おめでとうございます」といってくれて嬉しかったです。

### ◎近藤雅彦さん

23日で56歳となりました。私も厚揚げは大好きです。でもなかなか痩せませんね。昨年55歳になったときには、四捨五入すると60歳になってしまうと思いがっかりしていたのですが、56歳になるともう当たり前だと開き直ることができました。

### ◎林竹計さん

10月30日で67歳になります。少し前に還暦を迎えた話をしたと思ったら、もうこれだけ年数がたってしまいました。

浜松餃子も有名になって10年が経ちました。その中で私が体験したこと、活動して来たことを本に纏めてみようと思ひまして、今「浜松餃子物語」という本を執筆中です。出版したら1冊ご購入をお願いします。

## ■議事（米山記念部会）

卓話「米山記念奨学事業について」

第2620地区 米山記念奨学委員会小澤邦比呂さん



第2620地区 米山記念奨学委員会 小澤でございます。

本日は、米山記念奨学事業につきまして、卓話のお時間を戴き誠にありがとうございます。

さて、米山記念奨学事業とは、日本のロータリーが作った独自の事業で34地区、全地区が推進するロータリー合同プロジェクトです。日本のロータリークラブの創始者のひとり、米山梅吉翁の死後、彼の偉業を称え、その精神を受け継ぐ意味で始められました。

これはアジアから優秀な学生を招いて学費を援助し、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために、平和日本を肌で感じてもらいたいというものでした。

1952年に事業が始まって以来、一貫して日本で学ぶ外国人留学生を支援しています。

「公益財団法人ロータリー米山記念奨学会」というのは、この事業を行う為に日本のロータリーが共同して運営する奨学財団で、財源はすべてロータリー会員の皆様のご寄付で成り立っています。

この奨学金の最大の特徴は、「世話クラブ・カウンセラー制度」です。

銀行振り込みが多い他の奨学金と違い、米山奨学生にはロータリー活動に共に参加していただき、交流することを大切にしています。

奨学生に単に奨学金を支給するだけでなく、人生経験豊かなロータリアンがカウンセラーとしてケアにあたり、また、所属する世話クラブ全体での交流を通じて、ロータリー精神を学び、その活動や日本人の心に触れる機会が得られます。カウンセラーの支えやロータリアンと交わる中でロータリーの奨学生として、ふさわしい学生に導き育てることが世話クラブ及びカウンセラーの役割であります。

大切なことは、「どんな奨学生に育てたか・育ててくれたか」です。

皆様の役割はとても大きなものがあります。

マザーテレサの言葉にこういう言葉がございます。

「私たちは大きなことはできません。小さなことを大きな愛で行うだけです。」

この言葉は、人として、またロータリアンとしての原点ではないでしょうか。

米山記念奨学事業は、今年で64年を迎えております。

引き続き、地区米山記念奨学委員会・米山記念奨学事業をご支援頂きます様、宜しくお願い申し上げます。

本日は、貴重なお時間をいただき、誠に有り難うございました。

